

KATALLER TOYAMA



創刊号

きょうホームで甲府戦



2025 Monthly マンスリー
カタールレ



白星

県総へ

11年ぶりにJ2で戦うカタールレ富山。開幕となった2月16日の愛媛戦は、MF伊藤拓巳のゴールで幸先よく白星をつかんだ。

この得点を演出したのがプロ2年目のFW碓井聖生とDF西矢慎平のコンビプレー。碓井のラストパスに走り込んだ西矢がミドルシュートを放ち、こぼれ球に伊藤が反応した。

伊藤、碓井、西矢の3人を含め、先発のうち8人は新卒で加入した生え抜きだった。もちろんJ2は初経験だが、伸びしろの大きい新鋭ぞろいだ。若手が自信を深めた初白星には1勝以上の価値がある。

サッカー専門誌など複数の媒体は、カタールレの最終順位を最下位の20位にランク付けしている。

昨季の成績を踏まえるとやむを得ないだろう。実際にライバルはクラブの歴史と規模、チームの戦力を考えてもほとんどが格上だ。

今季のスローガンに「不屈」を掲げたのは、険しい道のりを覚悟しているからにほかならない。小田切道治監督は言う。「我々は20番目から一つずつはい上がっていく」

2日午後2時から県総合運動公園陸上競技場で行われるホーム開幕戦は甲府を迎え撃つ。勝利を願い、2月24日はサポーターをはじめとするボランティア400人以上がスタジアムの除雪に協力した。舞台を整えてくれた地元の期待に応え、上位を目指して戦い抜く。県総に集まるサポーターに歓喜の白星を届けようと、チームの士気は高まっている。

速報も 深掘り記事も

webun+



会員 初月無料